

アパレル産業の課題と SDGs —今後のあるべき姿について—

渡部将吾

近年、ファストファッションが世代を問わず人気を集めている。その魅力は何といても質の良い衣服を手ごろな価格で購入し、ファッションを楽しむことが出来るという点である。また、昨今の物価上昇がより安い衣服を求める消費者の声にさらに拍車をかけている状況である。しかし、ファッションの煌びやかな世界の裏には深刻な問題が数多く潜んでいる。水質汚染、環境破壊、人権侵害などの問題が今もなお解決されず、多くの消費者にはその問題が詳しく伝わっていない。アパレル業界や各企業はこれらの問題に対してどのような対策を講じているのだろうか。

本稿では、アパレル産業がもたらす諸課題への解決策を SDGs(Sustainable Development Goals)を中心に関連付けて検討している。その目的として、SDGs は日本でも多くの企業が取り組んでいる目標であり、アパレル産業の課題を解決するために無くてはならないと考えたからである。現在、アパレル産業が抱えている問題点を明確にし、それらが SDGs17 の目標とどのように関連しているかについて検討している。また、SDGs だけではなくファッション協定や 3R といったアパレル業界全体の取り組みや企業の取り組み事例を挙げて、今後のアパレル業界の展望についても考察している。